

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月24日			
平成15年度	事業コード	21220	電話	042-769-8336
担当部課名	環境事業部	清掃総務	課	
事務事業名	ごみ収集車両購入費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	人と自然にやさしい地域社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第2節	リサイクル型社会の構築	63以前年度
施策名	第2施策	廃棄物適正処理の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市庁用自動車管理規則 相模原市庁用自動車に係る環境保全行動指針

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

投資的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
ごみ収集車両を計画的に更新し適正な収集体制を維持するとともに、LPガス自動車等の環境に配慮した低公害車に切り替えることにより、地域環境の保全、環境負荷の軽減、収集作業環境の向上を図る。	ごみ収集車両71台 収集事務所別内訳 麻溝台...37台 橋本台...34台 対象数 71台
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
平成14年度更新対象となったディーゼルごみ収集車のうち、2t車8台をLPガス自動車、3.5t車6台を最新排ガス規制適合ディーゼル車、ダンプ車2台をガソリン車に更新し、計16台をすべて八都県市指定低公害車へ転換した。 (車両購入費計=108,711千円)	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	八都県市指定低公害車転換率	八都県市指定低公害車車両台数/71(保有台数)×100	保有車両のうち、八都県市指定低公害車の占める割合を明らかにする。	18	34	54	65	86
	活動指標	車両更新率	更新対象車両が、計画的に更新されているかを明らかにする。	100	100	100	100	100

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	66,151	82,427	110,837	71,001	97,800
決算(予算)額	66,151	82,427	110,837	71,001	97,800
人員・時間数	1	1	1	1	1
人件費	252	252	252	252	252
その他経費					
合計	66,403	82,679	111,089	71,253	98,052
特定財源	100		1,000	1,800	
対象数	71	71	71	71	71
対象の単位あたり経費	935.3	1,164.5	1,564.6	1,003.6	1,381.0

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	計画的に更新されており、低公害車への切り替えが進んでいる。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B : 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 自動車NOx・PM法や県条例の改正により、ディーゼル車の排ガスをめぐる規制は厳しくなっており、収集車両の低公害化していくことは、社会情勢に適応しているといえる。
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	市民生活に密接に関わりのあるごみ収集業務に、少しでも環境負荷の少ない車両を使用することは有効である。
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	ごみ収集は、すべての市民が利用している行政サービスの一つであり、特定の対象者のための事業ではない。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	説明： 高額な収集車をこれ以上のペースで切り替えていくのは財政的にも厳しいと思われる。	手段	
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	ディーゼル車からの排気ガスは、現在社会問題になっており、環境にやさしい低公害車を率先して導入することは行政の重要な役割の一つと考える。ディーゼル車をLPガス車や天然ガス車の低公害車に計画的に転換していくとともに、低公害車の導入を更に進めるため、燃料充填所の整備等も検討する必要がある。
<input type="checkbox"/>	廃止	なお、規制に対応した車両への更新が終了した後は、社会情勢を勘案し、安全の確認を行いながら、更新基準の延長等の見直しを行う必要がある。
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

車両更新基準を見直すこと
